

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年1月6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101287
法人名	医療法人 高潮会
事業所名	グループホーム うしおえ
所在地	〒780-8011 高知県高知市梅の辻7-2
自己評価作成日	平成21年8月31日
評価結果市町村受理日	平成22年1月13日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年9月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970101287&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域・家族との関わりを大切に、利用者が家庭的な雰囲気の中でゆったりとした生活が送れるよう努めている。また、畑で四季折々の野菜を利用者と一緒に収穫して献立に採り入れ、食の楽しみにつなげている。職員は、自己研鑽に積極的に取り組み、常に、笑顔で挨拶、温かな雰囲気に心がけ、日々のケアに取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所の近くに母体法人の病院があり、いつでも医療処置が受けられ、利用者も安心して生活ができる環境がある。住宅環境は隣家との境界に高い塀があるが、ホーム全体は静かで清潔感があり、利用者は、日中は道に面した明るい談話室で、趣味を生かした活動に取り組み、ゆったりとした雰囲気の中で穏やかな生活を送っている。また、事業所で行う生き生き百歳体操を通じて近隣の高齢者と交流している。管理者は、職員のケアの実践力の向上に配慮し研修機会の確保に努めており、今後もさらに地域に溶け込み、サービス向上に取り組む事業所としての期待が持てる。

自己評価および外部評価結果

ユニット名 (1F)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	センター内に理念を掲示し、地域と関わりを持ちながら、自立支援に向け、意識的な取り組みが維持出来るよう努めている。	事業所独自の理念を掲げ、その理念を事業所内に掲示し、日々のカンファレンスや職員会、ユニット会など機会を捉えて振り返り、理念を意識づけ、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	不燃物の当番や河川清掃、祭りなど地域の一員としての役割を持ちながら交流している。	町内会に加入し、不燃物当番や河川清掃、子ども会、夏祭り、餅つき等に参加し、また、民生委員から情報をもらうなど、地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的を開催している生き生き体操が地域の方々との交流の場の一つとなっている。行事等への参加も呼びかけ、その中で認知症に対する理解が得られるよう努めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会を開催しホームでの取り組みや事故の状況・行事等を報告、参加者からの助言や提案をサービスに反映させている。	会議は2カ月に1回開催し、事業所の取り組み等の報告を行い、委員から意見等が出されるなど、双方向的な会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議が主となっている。その中で事業所の実情や入居者を交えての意見等を伝え、協力関係を築けるよう取り組んでいる。	市の窓口には事業所の行事案内や便りをその都度送付している。また、運営推進会議の機会を捉えて事業所の状況を報告し、助言や指導をもらうなど協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を定期的に関き、個々に対するケアの振り返りを行い利用者の行動制限をしないケアを実行している。	身体拘束委員会で拘束禁止について話し合い、全職員に徹底し、日々のケアが利用者の行動制限や言葉での拘束になっていないか、職員間でも常に意識をして取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会や虐待に関する資料等で学んでいる。虐待のない生活を送れるよう言葉遣いを始めとし、職員間で注意し、呼びかけ合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の研修を受け、研修報告を聞き共有して活用出来るよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度、契約書に沿った分かりやすい説明を心がけており、家族の疑問も解消できるよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族が意見を述べやすい雰囲気作りを心掛け、適宜運営に反映出来るよう努めている。玄関に意見箱も設置している。</p>	<p>家族は月に1回は来訪しており、必ず声をかけ何でも話しやすい雰囲気づくりに努めている。県外の家族にも電話やホーム便りなどで近況報告をし、意見や要望等については、職員会等で話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会や個別面談、日常会話等で職員の意見を聞き取り運営に反映させている。</p>	<p>職員会や個別面談、普段の会話の中でコミュニケーションを図るよう心がけ、意見を聞き取り運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期の人事考課で個々の状況を把握し、職員が向上心を持てるよう職場の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個別または全職員対象の研修参加の機会を作り、知識・技術の向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>外部研修への参加機会を活かし、同業者との情報交換などサービスの質向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約の段階で家族や利用施設の職員から本人の情報を聞き取り、本人との会話から思いを理解、安心して過ごせる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の段階でホームの生活の趣旨を説明し理解してもらっている。その中で家族の思いや要望を受け止め、信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意向を聞き取り、利用者の情報を含め、今必要としている支援を検討し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事を見極め共に活動している。その中で利用者に教えてもらう事も多く、互いに支え合いながら生活している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人、家族の思いが互いに通じ合えるよう配慮し、繋がりを大切にしたい関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来客者が訪問しやすい雰囲気を作っている。馴染みの美容院や知人との交流にも努めている。	利用者がこれまで大切にしてきた人間関係や場所との関わりが継続できるよう、知人等が来訪しやすい雰囲気づくりや家族の協力を得て馴染みの美容院に行くなどの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の性格、人間関係を把握し、苦手意識がある利用者間においては職員が調整役となり、共に支え合える関係作りに取り組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された利用者への訪問も出来る限り行っている。また家族を含め気軽にホームを訪れ、経過について話し合っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や表情等で本人の意向を把握するように努め、支援に繋げている。	日々の関わりの中で利用者との会話や表情等から意向を察知して希望の把握に努めている。また、意思疎通の困難な利用者には家族の協力も得て支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や趣味、その人らしい過ごし方を利用者の情報や本人、家族との会話から見出し把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の過ごし方はもとより心身状態の変化に注意し、職員間で情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の意向等はカンファレンス前に聞くようにしている。利用者にとって現在重要となっている課題について、介護・医療の両面から検討し、介護計画を作成している。	日頃から、利用者や家族の思いや意向を聞き、職員の気づき等も踏まえてカンファレンスを行い介護計画を作成し、概ね3カ月毎に見直しを行っている。利用者の状況に変化があれば、その都度個別に期間の設定をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	過ごし方やプランの実践について生活記録に記入、連絡ノートも適宜活用して本人の状態を職員間で共有し、支援方法や必要に応じ介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の意向や変化、家族の状況に配慮し通院や外出など、可能な限り柔軟な対応に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通じ民生委員の方との関わりや町内の行事、郵便局や公園、スーパーなど暮らしが豊かになる資源を安全面に留意し活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人の体調等を把握し、家族に状態を報告している。その中で、状況に応じた医療機関への受診について説明し、支援している。</p>	<p>事業所の協力医のほか、利用者や家族が希望するかかりつけ医での受診を支援している。家族の付き添いを基本としているが、状況に応じて職員が同行している。また、受診結果は家族から連絡を受けて職員間で共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の中で状況に変化や気付きがあった時は、看護師に報告、相談し適切な対応の支援をしている。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は安心して治療が受けられるよう医療機関に情報を伝達している。入院経過についても情報を交換し、医療機関との関係作りに努めている。</p>	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>開設以来ホームで終末期を迎えた方はいないが、早い段階から家族と話し合い、説明した上で理解してもらい、意向を聞き入れ、本人に必要な場所での支援・対応が取れている。</p>	<p>終末期の対応指針を入居時に説明している。看取りの事例はないが、重度化した場合は早い段階から家族や医療関係者と話し合い、本人に必要な対応、支援を行う体制はできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修、内部研修に参加し、実践力を付けるよう努力している。また研修終了後は報告会を行い全職員への浸透を図っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練(夜間想定を含む)は実施出来ているが、近隣の協力体制としては課題の一つとなっている。	事業所では定期的に訓練を実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。災害に備えた非常用食料等の準備は出来ている。	災害時には地域住民の協力が欠かせないので、事業所だけの避難訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得た訓練を実施することが期待される。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格・プライバシーを尊重し、周りに聞こえないようなトイレの声掛けや個人情報が出漏れないような配慮、本人を傷つけない接し方に努めている。	プライバシーの確保や個人情報については、内部研修や勉強会で周知徹底し、業務の中でも常に職員間で気をつけ利用者への声かけなど、接し方に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が自分の思いや希望を表現出来るようゆったりとしたペースで接し、自己決定を尊重し対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者との会話の中で、その思いを把握し、本人のペースに沿った支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の個性を大切にしながら季節に合った着衣を勧めたり、家族の協力を含め馴染みの美容室も利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を聞き取り、栄養バランスを考え季節の物を献立に取り入れている。食材に合わせた食器選び、色どりや盛り付けの工夫 個々の能力に合わせ食事準備から後片付けまで一緒に行っている。また楽しく食事が出来るよう会話やBGMで雰囲気作りをしている。	利用者の希望を聞き献立に反映し、管理栄養士の指導も受けている。調理、盛り付け、片付け等について利用者の能力を活かしながら職員と一緒に行うなど、利用者と職員がアットホームな雰囲気です食事を楽しめるよう取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養・水分の摂取量を把握し、必要に応じ職員間で伝達、ケアプランへと繋げている。摂取量アップの為に個別に味付けや形態を工夫、定期的に体重測定も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個人に応じた声掛けや支援を行っている。拒否があれば時間を置き支援に繋げている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握した声掛け、飲水量の増加を図るなど失禁軽減に向けた支援に取り組んでいる。	利用者一人ひとりの排泄のリズムを把握し、タイミングをみてトイレで排泄できるよう声かけするなど支援している。また、飲料水の摂取量にも配慮しながら、自立支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便間隔を確認し自然排便を促すよう運動や水分補給の支援をしている。水分摂取のため、食事に寒天ゼリーなど採り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望に応じて入浴してもらっている。入浴拒否がある方に対しては無理強いせず、時間を置いて声掛けするなど、本人の意思を尊重している。	利用者の希望に合わせて毎日入浴が出来るように取り組んでいる。入浴を拒否する利用者には、時間を置いたり、声かけや対応の方法を工夫するなど、入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の生活リズム・活動量を把握し、適宜休息の声掛けを行い、気分良く眠れるよう室温調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が用法・用量を常に把握出来るよう内服説明書を生活記録に保管している。また、服薬の支援に関するマニュアルを作成し、誤薬防止に向け全職員で取り組んでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の意向や得意な部分を把握し、生き生きとした生活が送れるよう日常的に家事や散歩・レク活動を行うほか、季節に応じた行事を計画し楽しみに繋がるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望はもとより、外気に触れる機会が増やせるようなアプローチ、必要に応じて車イス支援を行っている。外出計画の中にも利用者の意向を取り入れており、馴染みの美容院へは家族の協力も得られている。</p>	<p>利用者の希望に沿って、散歩や買い物などに出かけている。車椅子使用の利用者にも同じように外出支援を行っている。また、桜や紫陽花見物など、季節毎にドライブを兼ねて遠出をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の金銭管理能力に応じ、本人に管理してもらっている。また本人がお金を使うことを大事にし、見守りしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも気軽に電話が出来るよう支援している。また、手紙を出す時は郵便局まで本人に付き添っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングでは毎月壁画を新しく飾り、BGMを流している。室温や明るさ、換気にも気を配り、玄関には四季折々の花を植えている。</p>	<p>利用者が歩行器やシルバーカーで安全に移動し易いスペースが確保された共用空間となっており、室内には花を活け、壁面には合同作品を飾り、季節感を採り入れるなど、居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにはテーブル席や数人で座れるソファを置き、畳の間もある。玄関にもベンチを用意している。利用者が思い思いに過ごせる十分なスペースがある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が慣れ親しんだ家財や必要な電化製品を自由に持込されている。また、過ごし易いように本人、家族と相談し、それらの配置にも気を付けている。</p>	<p>利用者が慣れ親しんだ家財や家族の写真などを持ち込み、配置も利用者がそれぞれ過ごし易いように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行器やシルバーカーでも安全に移動できるスペースを確保している。食事作りにもキッチン、食卓と利用者が行いやすいよう、場所を使い分けている。</p>		

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

ユニット名 (2F)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目に触れやすい場所に理念を掲示し、それに基づくケアが提供出来るよう、地域の中でその方らしい生活を送れることを心がけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	常日頃より近所への散歩や買い物へ利用者と一緒に出掛け、また町内行事や不燃物の当番に参加し交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	生き生き百歳体操・夕涼み会・ボランティア来訪など、地域や外部の方との交流の場を持ち、積極的に行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で評価内容を報告し意見を貰い、質の向上へと取り組んでいる。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議での関わりが主となっているが、その中で事案報告を行い助言・指導など協力関係が築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員をもとに定期的な会を持ち、身体拘束をしないケアを行っている。ホーム内研修を開き具体的な行為についても職員間で理解をしながら取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する資料等を閲覧し、また、職員間で気になる言葉遣いなど注意しあえる関係作りに努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修後、ホーム内研修を開き職員間で学ぶ機会を持ち支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者・家族に契約の説明、不安や疑問も聞き十分に説明を行い理解を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関の出入りに意見箱を設置し、自由に意見や要望を出す事が出来るようにしている。日頃の訪問時などの機会を捉えて聞き取ることを心がけている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会や日頃からの職員との関わりや会話の中で、提案を受けたり、意見交換を行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>自己目標を掲げ、個別面接を行い、達成度、困っていることなど確認し、就業環境の調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勤務調整を行い、全員を対象に包括的な研修参加を心がけている。受講後、ホーム内でも研修報告を行い、全職員が共有出来るように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>外部研修への参加機会を活かし、同業者との情報交換などを通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者との対話を大事にし、その中で思いや求めていることを把握し、利用者の満足度、安心感へと繋げていくことが出来るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人、家族の要望に耳を傾け、思いや不安、疑問点など話し合い、信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学及び入居申し込み段階より、本人、家族にとってより良いサービスに繋げるよう、必要な支援の見極めを行ない対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の得意分野を活かし、共に日常生活を過ごす中、支え合える関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の状況や思いなど家族に細かく伝え、本人と一緒に支えていくために協力体制を持つよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方へ手紙を出したり、知人來居時にはゆったりとした雰囲気の中で過ごしてもらえよう、来居しやすい環境作りを心がけている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の馴染みの関係を大切にし、本人の居場所作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても可能な限り訪問し関係を保ち、また退居された方でも定期的な訪問があるなど、家族を始め関係性を断ち切ることがないよう心がけている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中で、本人の希望や意向を聞き取り、職員間で情報の共有・把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から生活歴や意向など、これからの生活に繋げていけるよう情報収集を行い把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりが有する力を見極めながら、日々の状態、変化を職員間で伝え合い、状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の思いや希望を聞き取り、定期的にカンファレンスを開催している。状況に即した介護計画を修正・立案し、家族に説明し了解を得ている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランについての取り組みや日常生活での変化・過ごし方など、生活記録へと記入・送りなど情報を共有し、見直すべき点については適宜見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	独居の方や家族が県外にいるなど、一人ひとりに合わせた連携や支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内行事や地域活動に参加し、本人の意向や希望に応じ地域へ出掛けるなど支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医ほか、利用者が希望するかかりつけ医の医療が受けられるよう支援している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の利用者の健康状態や体調の変化を適宜報告・連絡・相談を行ないながら支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、医療機関との情報交換を密に行い、利用者が不安なく治療が受けられるよう頻回に訪室、また病院関係者との関係作りにも心がけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重症化した場合や、終末期のあり方について職員一同で対応方針を共有し、支援方法を話し合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のフローチャートや内・外部の研修を通じて職員全員が実践出来るように取り組んでいる。また、事故対策委員会を開き事故防止に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練(夜間想定を含む)は実践できているが、近隣への協力体制としては課題の一つとなっている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格・プライバシーに配慮した言葉掛けや対応が出来ている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆったりとした環境の中、利用者の思いや希望を把握し、個々の能力に応じた自己決定が出来るよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活ペースを優先し、その日の体調も考えて希望や必要に応じた生活支援を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時には化粧を欠かさない方や、自分で好みの服を選んでもらうなど、その人らしさを尊重している。また認知度・能力に応じたおしゃれの支援をしている。家族の協力も得ながら美容院の利用もしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に育てた畑の収穫を含め、旬の素材も食事に採り入れながら、利用者と共に準備から片づけまで、一人ひとりが出来ることへ声掛け、一緒に行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が栄養バランスを考えた献立を作り、管理栄養士よりアドバイスを受け提供している。毎食一緒に食事を摂りながら一人ひとりの食事・水分摂取量に気を配り、個々に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前にうがいを行うとともに、毎食後、声掛けや一部介助のもと、徹底した口腔衛生を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの必要性に応じて排泄リズムを把握し、誘導を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食べ物や寒天を取り入れる工夫をし、水分補給・運動の声掛けをし、自然排便が出来るよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望する時間に入浴できるようにしている。拒否が続く方に対しては清拭や言葉の掛け方や対応方法を工夫し支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各自のペースに合わせて室温にも配慮し、休息の声掛けを行っている。不安や眠れない様子が見られる際は話を受け止め傾聴し、安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが服薬に関して責任を持ち、確実に服薬出来るよう支援している。内服説明書を個別ファイルへ閉じ、内容を把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみや嗜好は何かを常に汲み取るようにし、日常生活の中で声掛けを行い、活動への参加を働きかけるなど取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>希望に沿って散歩や買い物など外出の支援をしている、家族の協力も得ながら外出する機会も持っている。また、季節を感じ楽しめるような屋外レクも計画し出掛けている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の金銭管理能力を見極め対応している。また、本人希望時には買い物に同行し、支払い時には側で見守り支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の希望に沿って、家族に電話したり手紙を書くなど、機会を作っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースは安全に移動、利用し易い空間に配慮し、利用者と共に季節が感じられるような壁面作りを行い、玄関周りには四季折々の草花を植えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	一人ひとりが思い思いに過ごせるようにベランダや踊り場へイスを配置したり、リビング内には気の合う利用者同士で談話できるスペース作りをしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	使い慣れた家具や小物などを配置し、花を活けるなど、居心地の良い居室について家族に協力してもらうなど工夫している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	利用者の状況に合わせた環境整備に努め、安全に配慮し、危険物を排除するなどの工夫をしている。		

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない